

KIRIFUDA トランプを想起する名刺

53種類のメッセージとマークがコミュニケーションを豊かにする



トランプよりも少しコシのある紙に両面PP貼りをして角を丸くカッティング。ちょうど名刺とトランプの中間のような質感がでるように、いくつか検証してこの形を選んだ。トランプをイメージし、名前の日本語表記と英字表記を逆さにしている。



K I R I F U D A

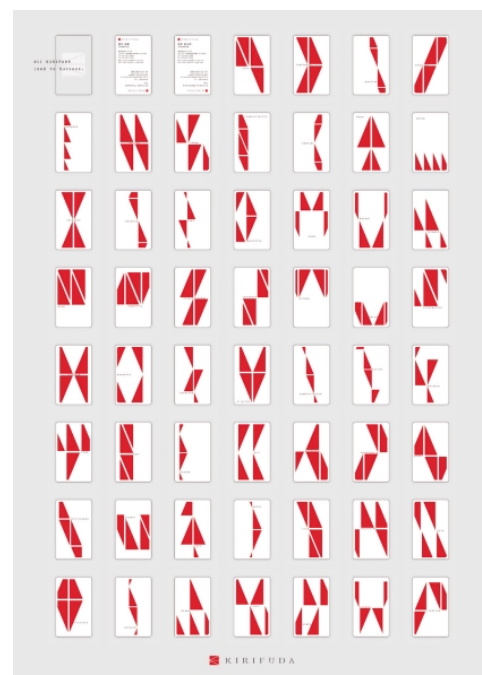
シンボルマークは頭文字の「K」と「F」に見えるよう、切り込みを入れ、4つの直角三角形で構成されている。「シンプルでありながら洗練さと力強さを持っていること、常に情熱と全力で進む姿勢を赤の色に込めました」(隈部さん)

2007年9月に設立したばかりのWEBの企画・運営会社「KIRIFUDA (キリフダ)」。「代打の切り札」というように、特別な場面で特別な力を発揮する、頼れる存在になるという意味を込めてコピーライターの菊地雄也さんが社名を考えた。それを受けて、アートディレクターの隈部浩さん(電通テック)がロゴやクリエイティブツール(名刺やローンチ案内状)をデザインした。「インターネットでは馴染みのドット(四角形)を“K”と“F”の形に見えるよう直線を描きロゴマークにしました。その線を切り抜くことでできる4つの直角三角形を並び替え、変化させることでKIRIFUDAがインターネットの世界で柔軟に様々な企画やソリューションを提案できることを表しています」(隈部さん)。

KIRIFUDA(=切り札)という社名から“トランプ”を連想した隈部さんは、トランプと同数の53種類のマークとメッセージを名刺に落とし込んだ。メッセージはKIRIFUDAが目指していることや、強い思いのある言葉を菊地さんが書き、その言葉とリンクするように、ロゴマークの三角形を組み合わせた。たとえば「succeed」(成功)というメッセージでは4つの三角形を縦に並べ「階段を上る」イメージに変化させるなど、53種類すべて違う表情を見せている。

そのデザインが最大に活きるのが名刺交換の時。メッセージとマークの記された名刺は53種類で1セットになっており、「一期一会の瞬間にどのカードが出るか!」。そんな驚きとイベント性が生まれる。「一般的な名刺交換の定義に反さない範囲で、色んな名刺交換ができると思います。たとえば、好きな言葉やデザインのものを選んでもらったり、渡した名刺に書かれているメッセージは53分の1の言葉なんですという具合に会話が弾みます」(隈部さん)。

インターネットやテクノロジーには、人間味や人の肌感覚と、少し離れたところに存在する印象がある。人と人がダイレクトに触れ合う名刺交換の時に、温度を感じることで、コミュニケーションを大切にするKIRIFUDAブランドのオリジナリティを表現した。



KIRIFUDAのポスター(B1)

全53種類の名刺が一面に見える。「オール キリフダ リード トゥ サクセス」というコピーが入っていて、どの名刺も全てが成功につながる、ポジティブな言葉が記されている。

○企画制作/電通テック○AD/隈部浩○C/菊地雄也○印刷/吉田淳一、大聖亜希